

平成26年度第3回経営協議会報

総務部総務課

日 時 平成26年12月8日(月) 13:30～15:30

審議事項

(1) 国立大学法人琉球大学経営協議会規程の一部改正について

総務課長から、国立大学法人琉球大学経営協議会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) 琉球大学学長選考会議委員の選出について

総務課長から、琉球大学学長選考会議委員の選出について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 平成27年度予算編成方針(案)について

西川理事から、平成27年度予算編成方針(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、審議に当たって、委員から次の発言があった。

- ・ 人件費の抑制はよく考えて行う必要があるのではないか。教育・研究・診療のどの分野に重点配分をするのか、総人件費を上げるのか下げるのか、今までの採用の選考基準が合っているのか、是非、人材を確保する点から全体のコストを考えるとというアプローチをしていただきたい。
- ・ 中央教育審議会では、人文科学系の大学院は、なかなか企業ニーズにあった人材を輩出していないのではないかという意見がでている。民間のニーズがよくわかるというのは、重要なキーワードになっているので、大学においてもどういった人材を確保していけばいいのか議論が必要ではないか。
- ・ 非常勤の採用が安易になされているのではないか。非常勤の採用について、レベルの高い基準をとっていただきたい。
- ・ 外部資金の確保については、取組みをどういうふうに進めるのか。先進的な機関がどういうふうに行っているのかを参考に、いい方策をとっていただきたい。
- ・ 全日空が、那覇空港の敷地内に航空機の整備工場を作るという話があるが、沖縄高専では整備士育成の学生募集をする旨の記者会見があった。地域の人材育成という観点からは、琉球大学がまず率先して対応していただきたい。そのための具体的な取組みをみせるべきでないか。そういうことがスピード感のある形となって大学改革につながるのではないか。
- ・ 整備士育成は沖縄県のニーズに応えるべき人材を輩出するチャンスである。日本がどうやってアジアのビジネスをとりに行くのかといった時に、英語で堂々とエアバスとかボーイングのマネジメント担当者と相対して話ができる人材が必要である。沖縄高専はそういう人材を輩出すると張り切っている。一方で琉球大学はどうするのかという話になるので、工学部の皆さんには是非、頑張ってください。

報告事項

(1) 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律等への対応について

西川理事から、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律等への対応について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

石原副学長から、平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

(3) 25事業年度決算剰余金の繰越承認について

西川理事から、25事業年度決算剰余金の繰越承認について、資料に基づき報告があった。

(4) IR推進室の設置について

石原副学長から、IR推進室の設置について、資料に基づき報告があった。

(5) 研究推進機構の設置について

西田理事から、研究推進機構について、平成27年1月1日付設置の予定で準備が進んでいる旨、資料に基づき報告があった。

なお、委員から次の発言があった。

- ・ 現在、政府の方向は課題指向で、社会的課題の中で適宜、研究を組み合わせるべくいくということになっており、単なる競争的資金の情報提供だけでは競争的資金が取れなくなっている。複数の教員の研究を組み合わせることが大事である。それを的確に進めるには、本学の全ての研究者がどういう研究をしているのかの情報を整理しておく必要がある。研究推進機構にはそういう面の検討も行っていたきたい。

(6) 平成26年度第2回経営協議会における学外委員からの意見等への取組みについて

総務部長から、平成26年度第2回経営協議会における学外委員からの意見等への本学の取組み状況について、資料に基づき報告があった。